

平成26年度 学校関係者評価報告書

大阪市立新箕中学校 学校協議会

1 総括についての評価

- 「学力の向上」については、昨年度の生徒アンケートの授業内容がわからない、質問がしにくいという意見や保護者アンケートの放課後学習、試験前学習、図書館活用の要望に対し、学校が生徒たちのために教育活動の改善に取り組んでいることを理解してもらっている。家庭学習の定着の必要性を感じている。
- 「道徳心・社会性の育成」については、生活指導等を含めた学校の指導体制や取組みに対し、保護者から理解と評価がある。あいさつができる生徒が多く、服装もかなり良くなっている。部活動を通じた人間関係作りを大切にしたい。
- 「健康・体力の保持増進」については、保健だよりや食育通信などでの家庭への情報発信により、朝食を毎日食べる生徒が全体の94%と高い割合であった。生活習慣の乱れは、生徒・学校の荒れにつながるので、今後も基本的生活習慣の確立と、健康・体力の補助増進に向けて全校一丸となって取り組んでほしい。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：学力の向上

- 平成25年度末の生徒アンケートにおける「授業はわかりやすい」の項目について、「よくあてはまる(ややあてはまる)」と答えた生徒の割合を75%以上にする。 (カリキュラム改革)
 - ・1年45.2% 2年34.9% 3年54.0% 全体44.2%であり、目標値の75%以上を下回った。
- 平成25年度末の生徒アンケートにおける「授業内容・方法を工夫している」と答える生徒の割合を75%以上にする。 (カリキュラム改革)
 - ・1年62.2% 2年48.3% 3年76.4% 全体61.4%であり、目標値の75%以上を下回った。
 - ・保護者アンケートの「分かりやすくするための工夫をしている」と答える保護者の割合は、1年56.4% 2年35.1% 3年60.0% 全体47.7%であり、保護者アンケートからも下回った。

年度目標：道徳心・社会性の育成

- 平成25年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめや問題行動について、解決に向けて対応している割合を100%にする。 (カリキュラム改革)
 - ・学級、学年、学年間、他校との間に生じたいじめや問題行動について、100%対応し解決してきた。生徒アンケートの「いじめや校内暴力など困っていることについて対応してくれる」と答える割合は1年58.3% 2年48.8% 3年72.6% 全体59.6%と認識の違いが表れている。
- 平成25年度末の生徒アンケートにおける「規則正しい生活を心がけている」と答える生徒の割合を75%以上にする。 (カリキュラム改革)
 - ・1年59.3% 2年60.6% 3年72.0% 全体63.8%、3年が僅かに下回った。1・2年、全体では75%を下回った。
- 平成25年度末の生徒アンケートにおける「学校のルールを守るよう心がけている」と答える生徒の割合を75%以上にする。 (カリキュラム改革)
 - ・1年85.5% 2年83.7% 3年90.6% 全体86.4%、全学年とも目標値75%を上回った。
- 平成25年度末の生徒アンケートにおける「学校では生命の大切さや仲間の大切さを学ぶ機会が多い」と答える生徒の割合を80%以上にする。 (カリキュラム改革)

- ・ 1 年 54.1% 2 年 57.5% 3 年 65.9% 全体 59.0% 目標値 80%を下回った。
- ・「信頼できる友達がいる」との質問には 1 年 90.5% 2 年 91.9% 3 年 90.3% 全体 91.0%あり、全学年で 90%を超えている。

年度目標：健康・体力の保持増進

○平成 25 年度末の校内アンケートにおいて「朝食を毎日食べる」生徒の割合を高める。

(カリキュラム改革)

- ・ 1 年 97% 2 年 96% 3 年 91% 全体 94%と高い割合であった。

3 今後の学校運営についての意見

○今後も規範意識の定着、道徳教育の推進を進めていってもらいたい。

○学校・地域・保護者が協力して子どもたちの教育を考えることが大切であり、よりたくさんの情報発信をして、地域・保護者ができることを考えていく必要がある。目の前の子どもたちをどう育てるか、今後も一体となって考えていく。